



■子どもの行動の例

親が忙しい時にかぎって邪魔をされる



例) 洗濯物をとり込む場面 ■うちの子のできているところを探しましょう！

	できる	時々できる	できない
洗濯物を取り込む			●
洗濯物を取り込んだものを手渡すとかごに入れる	●		
洗濯物をたたむ			●
洗濯物を片づける			●

子どものできない行動には、子どもがまだできるように発達していない場合や体験していないなどの場合があります。今回の「洗濯物を片付ける」場合、初めは時間がかかったり、上手にたたんだり片付けができません。しかし、子どもがやりたいと思う時に、教えると子どもが学びたいという気持ちが整っているので身に付きやすいです。経験を繰り返してできることを増やしましょう。そして認め(ほめ)ましょう。

子育てヒント

「自分でした方がきれいだし、早い」

少しでも早く家事を済ませたい!誰でも思うことだと思います。そんな時に「手伝いたい〜」と子どもが来て困った経験をした方も多いのではないのでしょうか。しかし、子どもが来る時は、子どもが「学びたい」「ママと一緒にいたい」などと思う時かと思えます。その時に子どもと向き合くと、子どもは安心して自尊心を高め、親子にとって良好な関係を築くことへ繋がるでしょう。また「忙しいから邪魔しないで」などと断ると子どもは親の気持ちを自分へ向ける為に、困った行動を起こす可能性があります。

子どもができそうなこと、親が教えやすいものから、始めてみませんか。そのような状況だと、子どもは成功体験が経験しやすく、親にとっても、無理なく子どもに教えることができるでしょう。

例) ハンドタオル、くつ下などをたたませる。



例題の「洗濯物をたたみたい」で考えてみましょう。

子どもと良い関係を育てていくのは時間がかかります。

■前向き子育てのコツ **子どもと良質な時を過ごす** (子育て手帳 P.17 参考にしましょう)

良質な時間とは、子どもが求めてきた時に親が向き合うことです。1日を通して短い時間(1分~2分)を数多くとると効果が期待できます。子どもにとって特別な時は、何かを言うために、あなたのところに来る時、質問する時、一緒に何かをする時です。その時に「ちょっと待って」「後でね」と対応して、子どもが「ぐずる」「言うことを聞かなくなる」など、親にとっても、イライラする可能性が高くなる場合があります。



忙しい毎日、対応するのが難しい時もあるでしょう。その様な時には、子どもが理解できるように「待つこと」を伝えます。そして、できる限り早めに対応します。約束は必ず守りましょう。そうしないと「ママ(パパ)は約束を守ってくれない」などと、子どもから信頼を失い、子どもがマネをして約束を守らないようになることがあります。

親がはじめに、やって見せます。子どもは他人の行動をみて学びます。

■前向き子育てのコツ **良い手本を示す** (子育て手帳 P.25 参考にしましょう)

新しい行動を子どもに教えるために親が手本となって、子どもにどうするかを見せましょう。次に、どうするかを説明します。そして、マネをするように伝えます。初めは手助けが必要になるかもしれません。



例) 私(ぼく)もした〜いと寄ってきます。

ハンドタオルをたたむ(子どもができそうなものを選びましょう)

子ども「ママと一緒に私も洗濯物をたたみた〜い」

親「ゆいちゃん、お手伝いしてくれるんだね。」

親「ハンドタオルをたたむから見てね」

親「初めは、この角とこの角を合わせるよ」と言って、たたみます。

親「ゆいちゃんは、ママのお話も聞けて、ママがたたむのも見ているね」

子ども「ママと一緒に!できた」

親「一人で、ハンドタオルがたためたね」

子どもが自分でやろうと努力していること  
認め(ほめ)て、励ますことを心がけましょう

子どもが自分でできたこと  
認め(ほめ)て、励ますことを心がけましょう

※「子育て手帳」は、市が開催する「おはなし会」に参加いただいた時にも配布しています。



今月の定期便についての感想や質問をお聞かせください。



市の「前向き子育て応援事業」の情報はコチラ

■お問い合わせ 子ども未来課 子育て支援係 ☎ 28-7568  
(前向き子育て 担当 石橋)

科学研究費助成事業(責任者 福岡県立大学 江上千代美)